

## 岩手県福祉サービス第三者評価の結果

### 1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第2号
所在地	盛岡市三本柳8-1-3	評価実施期間	平成22年12月7日 ～平成23年1月25日

### 2 事業者情報

事業者名称（施設名）：一関藤の園	種別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 中西 秀吉 （管理者） 施設長 マウエル・クリスタ	開設年月日
設置主体：社会福祉法人 ふじの園 経営主体：社会福祉法人 ふじの園	定員（利用人員） 60名（58名）
所在地：一関市山目字館2番地5  TEL 0191-23-1544 FAX 0191-23-1545	

### 3 総評

◇ 特に評価の高い点

#### ○中長期計画と年度の事業計画の良好な関係

平成22年度事業計画は、中長期計画の重点事項を具現化したものとなっており、「④施設運営の方針」として健全な施設運営を図り良質なサービスを提供すること、目標として、第三者評価基準充足率90%以上の達成、「⑩養育の方針」として基本的生活習慣の確立と自立支援の充実、目標として第三者評価付加基準充足率90%以上の達成と利用者アンケート満足度調査80%以上の達成を設定し、目標達成のため全職員が精力的に取り組んでいる。

計画の作成にあたっては、事業計画作成マニュアルを作り、全職員が参加できる仕組みを構築している。計画は、項目ごとに担当者を決め作成している。また、半年毎に業務管理シートにより進捗状況を把握する仕組みになっており評価できる。

計画の周知にあたっては、事業計画書を毎年度始めに全職員に配布し、会議等には必携を義務化し、機会あるごとに事業計画の内容や進捗状況等について理解を深めるよう努力している。また、利用者家族に対しては、ホームページ広報誌に掲載しているほか、毎週土曜日夕食後に管理者から随時、説明が行われている。

#### ○課題解決に向けた積極的な取り組み

生活向上委員会、マニュアル作成委員会などPDCAサイクルを基調とした委員会の議論を経て、課題を明確にしながら、皆で取り組んでいる姿勢・態度が明確に見られる。

前回の受審で指摘された不十分なところを重点的に取り組まれ、更に一段とレベルアップした結果であり、全体的にとっても素晴らしい取り組みである。

◇ 改善が求められる点

○職員の就業状況に配慮し、改善する仕組みの構築

職員の有給休暇の取得状況、健康管理状況については、職員面接実施要綱を制定し、職員面接で意向把握に取り組んでいるが、職員の時間外労働に対する把握は十分に行われていない。就業規則に基づく 36 条協定は適切に行われているが、時間外労働のデーターがないのが不自然である。

職員アンケート調査の結果によれば、問 14.「職員が意欲的に仕事できる労働環境が整っている」の設問に、「はい」3 人 (13%)、「いいえ」3 人 (13%)、「どちらでもない」17 人 (74%) となっており、この回答が意とするところは何か、職員の意欲について十分な分析を行い、対応を進められることを期待したい。

○児童＝利用者の視点に立った細部に渡る支援・取り組み実施

仕組みや体制は整備されて支援の環境は整ってきたが、公衆電話の設置場所、要望・苦情箱の設置場所、生活支援にかかる個々のマニュアルの作成、居室環境の工夫、プライバシー尊重など、利用者＝児童の目線での創意工夫や改善すべき点が見られ、細部についてのさらなる配慮、気配りを期待したい。

児童個々の心身の成長や変化に対応した支援も期待されるわけで、児童の要望・意見を聞きながら、その実現を図ることは当然であるが、児童ゆえに、また養護施設としての限界もあるため、施設・職員側からも具体的な提案をして改善に向けた積極的な活動が期待される。

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

施設を利用する子ども達の満足度と働く職員の満足度を高めることは、施設管理者の責務と考えます。今年度で 3 回目の受審となりましたが、日々の業務内容を見直す機会となり、施設の抱えている問題や課題がより明確になりました。

今回、「利用者の視点に立った細部に渡る支援・取り組み実施」についてご指摘を頂きました。課題や改善すべき点については、「利用者主体」の原点に立ち返り、子ども達の要望や意見を取り入れながら支援方法のあり方を再考していきたいと思います。

今後とも子ども達一人ひとりのニーズに応じた支援を充実させ、更なるサービスの質の向上に努めていきたいと思います。

#### 5 各評価項目にかかる第三者評価結果 (別紙)